

マスコミよ それでよいのか

世上、マスコミの報道姿勢について批判が強い。わが農業に関しても、しばしば被害を受けている。そしてそれは多くの場合、風説だけの誤解に基づくものである。

農業工業会は、新聞・雑誌・テレビ等の報道で、農業にかかわる不正確な表現を発見した場合、直ちに会長名をもって、訂正申し入れを行っている。

たとえば、1月12日夜、某テレビ局で放映した「シリーズ食糧②奇形ザルは警告する」については、その取材姿勢に甚だ疑問を感じたので、すぐに抗議を申し入れた。奇形をもって世の関心を引く試みは、場末の見世物小屋の「クロロ首」の発想と同断である。

この放映があってから、日ならずして某新聞の投書欄に、農家の一老人からの投書が掲載された。「子孫にこのような奇形が[・][・][・]発生する[・][・][・]と思うと農業を使うのが怖くなった。……」と。

この老人は、今後農業の使用を控えたいと考えるだろうが、それは果たして可能なのか。この不安を与えた局側は、[・][・][・]自らの手で[・][・][・]厳密な科学的探究を行なったのか……等々考え込まざるを得なかった。

人心は動揺しやすいから、マスコミ報道の影響は強い。その責任は重大で、興味本位の取扱いは許されない筈である。

過日の新聞発表によると、環境庁が「化学物質と環境汚染」についての委嘱モニター1500人にアンケート調査したところ、95%もの人が「便利さや豊かさを感じているが、環境汚染については不安だ」と答えたという。

これもマスコミの影響であろうが、いたずら

目 次 (第20巻第2号)

第10回アジア・太平洋地域雑草学会
および現地農業を視察して…………… 2
〈財団法人 日本植物調節剤研究協会〉

クログワイの防除について…………… 5
〈農業研究センター 伊藤一幸〉

千葉県におけるオモダカの防除法……………12
〈千葉県農業試験場 小山 豊〉

多雨条件下における除草剤の有効利用について……………16
〈佐賀県主任専門技術員 金山 拓〉

世界の農耕地雑草とその調査研究(9)
——シ ソ 科 (2)——……………23
〈宇都宮大学 竹松哲夫・一前宣正〉

昭和60年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績概要……………36
〈財団法人 日本植物調節剤研究協会〉
・昭和60年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤ならびに判定表……………36

に人心を不安におとし入れるのが能ではあるまい。独断と偏見を去り、真に[・][・][・]科学的に[・][・][・]、また国民経済的な立場から利害損失を判断し、厳正中立な報道を心掛けて貰いたいものである。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事 宗 展生〕
農 業 工 業 会 会 長